

インターゼミ：
グリーンニューディールチーム

中間発表

発表日：2009年8月20日

豊田・高田・本橋・小松崎・原

(欠席) 清水・鷺田

本日のアジェンダ

1. グリーンニューディールとは何か？
 アメリカ版 グリーンニューディール
 日本版 グリーンニューディール
2. 日米グリーンニューディール、その他主要リサーチレポート
 の比較
3. 日本版グリーンニューディールの潜在的問題点
4. 今後の予定

1 - アメリカ版 グリーンニューディール

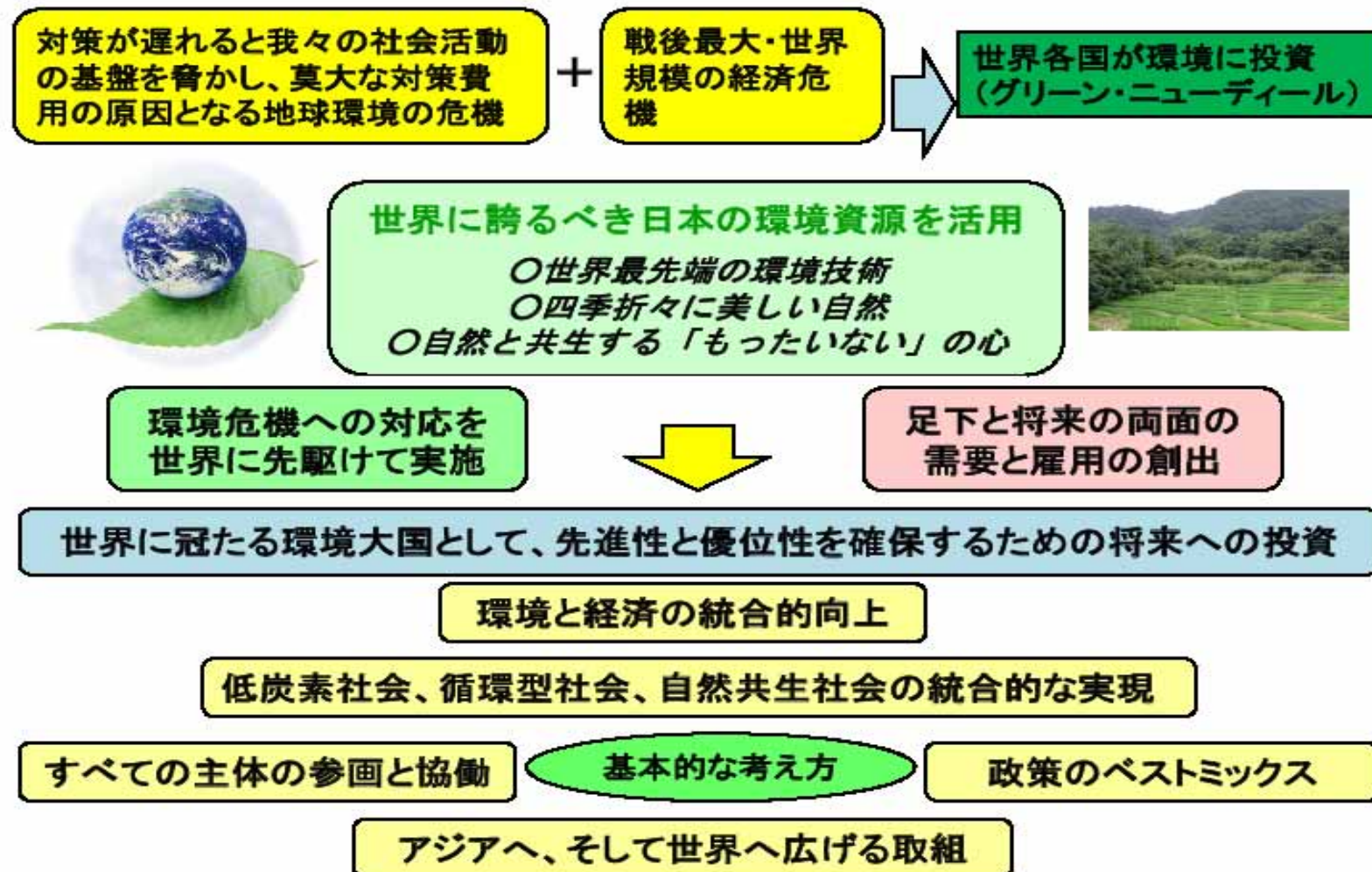
1. 米国版グリーンニューディールの概要

1. エネルギーセキュリティ(原油価格高騰)
 - インフラ整備
 - スマートグリッド
 - 再生可能エネルギー(脱石油)
 - バイオマス・太陽光・原発
2. 雇用創出
 - ソーラーパネル設置
 - 自動車産業支援
 - インフラ整備への政府支出
3. 環境(気候変動)
 - 対外的アピール(京都議定書脱落のイメージ挽回?)

1 - 日本版 グリーンニューディール

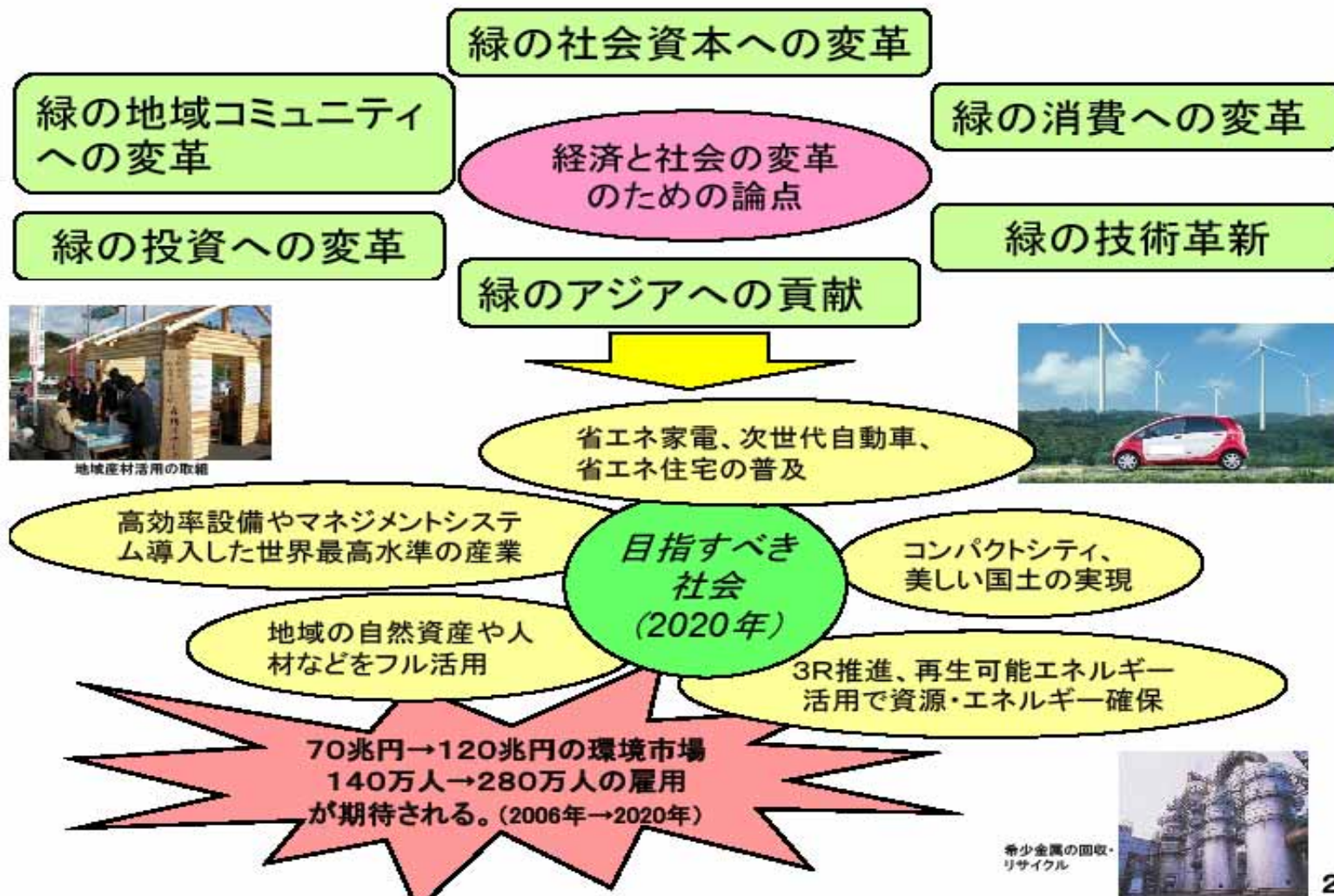
2、日本版グリーンニューディール

正式名称：「緑の経済と社会変革」‘09年4月20日 環境大臣名で発効



日本版グリーンニューディール

正式名称：「緑の経済と社会変革」'09年4月20日 環境大臣名で発効



2 . 日米グリーンニューディール、その他主要リサーチ レポートの比較



A Green New Deal

Joined-up policies to solve the triple crunch of the credit crisis, climate change and high oil prices

The first report of the Green New Deal Group

This report is the first publication of the Green New Deal Group.



Meeting since early 2007, its membership is drawn to reflect a wide range of expertise relating to the current financial, energy and environmental crises. The views and recommendations of the report are those of the group writing in their individual capacities. The report is published on behalf of the Green New Deal Group by nef (the new economics foundation).

The Green New Deal Group is, in alphabetical order:

- | | |
|--|--|
| Larry Elliott , Economics Editor of the Guardian | Richard Murphy , Co-Director of Finance for the Future and Director, Tax Research LLP |
| Colin Hines , Co-Director of Finance for the Future, former head of Greenpeace International's Economics Unit | Ann Pettifor , former head of the Jubilee 2000 debt relief campaign, Campaign Director of Operation Heart |
| Tony Juniper , former Director of Friends of the Earth | Charles Scott , Advisor on Sustainable Development, former Director of Friends of the Earth |
| Jeremy Leggett , founder and Chairman of Soteria and Soteria | Andrew Simms , Policy Director of the new economics foundation |
| Caroline Lucas , Green Party MEP | |



The global economy is facing a 'triple crunch'. It is a combination of a credit-fuelled financial crisis, accelerating climate change and soaring energy prices underpinned by an encroaching peak in oil production. These three overlapping events threaten to develop into a perfect storm, the like of which has not been seen since the Great Depression. To help prevent this from happening we are proposing a Green New Deal.

Contents

Executive summary	2
Foreword	6
Part 1: The triple crunch	6
The financial crunch	6
The climate crunch	14
The soaring global energy crunch	17
Part 2: The Green New Deal	23
Renewal of the financial system	23
Facing the climate and energy crunches: lessons from history	28
Facing the climate and energy crunches: politics and financing	33
Endnotes	41

オリジナルGreen New Deal

オリジナルGreen New Dealの概要



- ・ イギリスのGreen New Deal Groupにより作成され、New Economic Foundation(新経済団体)によって発行された、政策提言集
- 2007年から調査スタート、 2008年7月21日に、レポート発表
- GNDGは9名の経済学・財務・気候変動の専門家で構成される
- 提言内容は、
 - 信用危機(クレジットクラッシュ)
 - 気候変動
 - 石油価格高騰

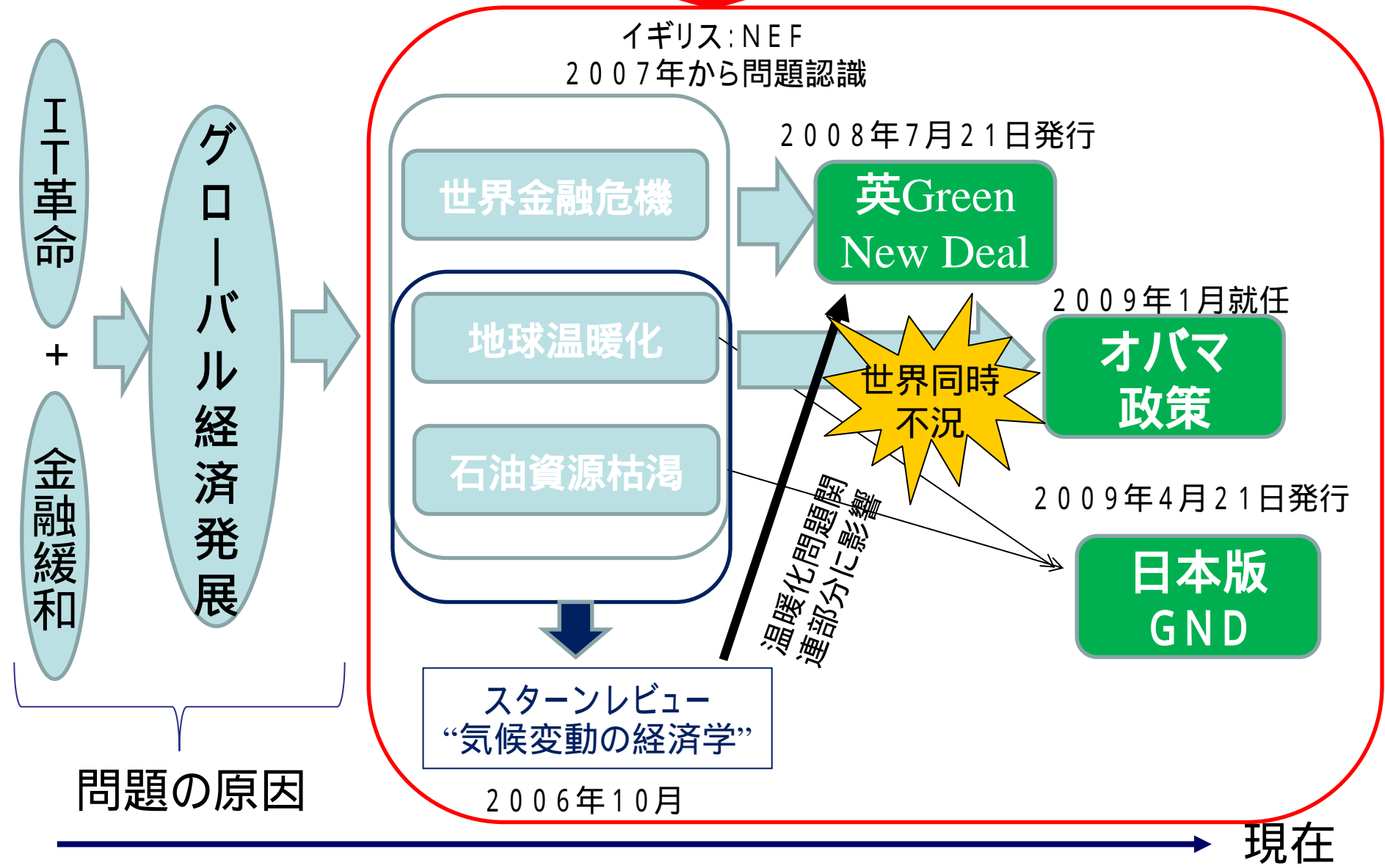
以上3つの危機は、グローバル経済の発展に伴う問題であると位置付けた上で、各問題の発生原因と政策による対策をまとめたものである。

グローバルイシューに関する各種政策提言の比較

政策提言	主要な提言内容	基礎となる理論・モチベーション	提言が想定している影響範囲
オリジナル Green New Deal(英)	信用危機、気候変動、原油価格高騰の3大危機を解決するための政策集	世界恐慌の発生予防	イギリスで成功させEU, 世界へ(主要対象は先進国)
US版 GND	自然エネルギーへの政策投資による、雇用創出と需要喚起	問題解決による国益の追求	基本的に自国内
日本版 GND	<ul style="list-style-type: none"> 国内の社会インフラを低炭素型社会へ変革 グリーン技術に投資を行い、環境立国としての優位性を確保し、需要と雇用の創出につなげる 環境技術を武器にアジアのリーダーに 	国内を“緑”化し、アジアでリーダーシップ発揮	自国 & アジア
スターンレビュー(英)	気候変動に対する強固かつ早期の対策を行うことによる便益は、そのコストを上回る	経済学	世界規模
コペンハーゲンコンセンサス	グローバルイシューの最優先順位は必ずしも環境問題ではなく、貧困問題やエイズの方が危急の問題である	厚生経済学	世界規模

各種提言の関連

コペンハーゲンコンセンサス
“グローバル社会の最重要課題は貧困問題・エイズだ！”



各種提言・政策を比較してわかった事・ 疑問に思った事



1. グリーンニューディールは、経済的インセンティブと明確に結び付けられないと、実行が難しいのではないだろうか？
2. 日本版グリーンニューディールは、他国(米・英)と比較すると、根底にある問題意識として、経済的側面が若干希薄な印象を受ける。
3. 環境技術では先進国であるはずの日本が、グローバルレベルのオピニオンリーダーとしてのイニシアチブがとれていないように見える。(Green New Deal, Stern Review, Copenhagen Consensusも、各種議論はあるものの、世界的に認められた提言として受け止められている)
4. 世界規模で様々なグローバルイシューを考えたとき、アフリカなどの貧困問題と環境問題の位置付け、優先順位を日本としてはどう捉えるべきなのか？(グリーンニューディールの研究を進める上で、高い視座で物事を考える必要があるのではないだろうか？)

3 . 日本版グリーンニューディールの潜在的問題点

4. 今後の計画

《チームとしての課題》

- ・ 環境省が出している日本版GNDを理解をさらに深める
- ・ チーム内でGNDに対する共通認識をさらに深める
- ・ アウトプットの1つとして教育プログラムの作成

《フィールドワーク》

- ・ 環境省へ話を聞きに行く
- ・ 経済産業省へ話を聞きに行く
- ・ 経団連の方の話を聞きに行く